公益社団法人
東京都理学療法士協会 News
NO.222

2022.5.25 発行
◆発　行　公益社団法人
　東京都理学療法士協会
◆発行人　森島　健
◆編集人　井出　大
　医療法人社団永生会
　地域支援事業部
　〒193-0942
　八王子市椚田町 583-15
　TEL :042-661-4108

第４１回関東甲信越ブロック理学療法士学会　開催のお知らせ
（同時開催）第４１回東京都理学療法学術大会

テ ー マ：新しいスタンダードの構築に向けて―令和の理学療法の進み方―

日　　時：2022 年 9 月 10 日（土）～ 11 日（日）
会　　場：日本教育会館及び WEB（ハイブリッド開催）
学 会 長：林　弘康（八王子保健生活協同組合城山病院）
副学会長：原島宏明（総合東京病院）
参加申込：マイページからの事前申し込みのみ（下記期間は予定）
６月下旬より参加受付開始予定
参 加 費：会員　対面 +WEB　6,000 円、WEB のみ　5,000 円
講　　演：
〇基調講演（ハイブリット）
リハビリテーション医療の未来 - 理学療法士に求められる新しいスタンダード -
　安保雅博先生（東京慈恵会医科大学リハビリテーション医学講座主任教授）
〇公開講座（オンデマンド）
社会に役立つ理学療法士（仮）
斉藤秀之先生（公益社団法人日本理学療法士協会会長）
〇ソウル市理学療法士会招聘講演
〇教育講演（ハイブリット）　10 講演
〇新人研修（ハイブリット）　4 講演
＊会場講演では若手理学療法士の疑問に応えるべく寺子屋形式の
　質疑応答時間を設けています
〇教育講演（オンデマンド）　10 講演

＊本学会のプログラムの詳細等や参加申し込み方法等に関しては

本学会 HP（右図 QR コード）をご確認ください。

＊学会当日の運営スタッフを募集しています。

詳細は都士会 HP（右図 QR コード）をご参照ください。

会場アクセス

学会ホームページ QR コード

都士ホームページ QR コード

222 号の目次

第 41 回関東甲信越ブロック理学療法士学会準備委員会・・・・・・・・ 1
地域活性局 ・・ 2
地域包括ケアシステム推進委員会 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
エスカレーターマナーアップ推進委員会 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
スポーツ局スポーツイベントサポート部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5 ～ 11
スポーツ局学校保健部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

報　告

局長　中澤 幹夫

（区西北部ブロック部　区西北部ブロック部研修会②

日時：2022 年 1 月 26 日

テーマ：スポーツ倫理とスポーツ指導者の法的責任

場所：Zoom を用いたオンライン

講師：弁護士　多賀　啓先生（パークス法律事務所）

内容：

今回、弁護士の多賀啓先生（パークス法律事務所）をお招きしてスポーツ倫理とスポーツ指導者の法的責任についての講習会を実施し、30 名の理学療法士にご参加いただきました。

多賀先生は公益財団法人日本スポーツ仲裁機構のスポーツ仲裁人・調停人等候補者やスポーツ競技団体のコンプライアンス強化委員会委員、一般社団法人日本スポーツ法支援・研究センター事務局長、また学校事故防止に関するご活動など多岐に渡ってスポーツ分野における弁護士としてご活躍をされています。

講習会では、スポーツ法、スポーツコンプライアンス、アンチドーピング、理学療法士がスポーツ現場で活動するにあたっての注意点やスポーツ現場で発生した事故における指導者の責任など、実際の事例（判例）を交えてご説明頂きました。

特に、スポーツ現場における法的責任の項目では、指導者側にもなりえる理学療法士が気を付けなければならない、「注意義務」について掘り下げてお話し下さいました。

具体的内容として、私たち理学療法士は障害予防や身体的コンディショニングばかり気を取られがちですが、環境設定や準備等において指導者と協力し、回避可能または予見可能な事故の予防そして選手の安全に十分配慮した上で現場活動をする必要があることや、万が一怪我や事故が起きた際は、その事例を貴重なデータとし再発防止策の策定に繋げること等、選手を守る上でもサポートする側の自分達を守る上でも非常に為になる講話でした。

この研修会は、また来年度も開催したいと考えておりますので、スポーツ現場活動をされる方々は是非一度ご参加頂き、選手と自分の安全について学ぶきっかけとして頂ければと思います。

報告者：北田利弘（竹川病院）

地域包括ケアシステム推進委員会

お知らせ

委員長　田中美和子

地域包括ケアシステム推進委員会からのお知らせ

都士会ホームページのバナーが「地域包括ケア推進リーダー」から「地域包括ケアシステム推進事業」となりました。
バナーの中も大きくリニューアル！！！
会員の方はもちろん、地域事業を行う上で連携をとる自治体や地域包括支援センターの方々・地域住民の方にも見ていただける内容となっております。
是非とも御確認の上、様々な場面にてお使いください。

～ 今年度の研修予定（予定）～

○　地域包括ケア基礎研修会　　令和４年９月
○　地域ケア会議推進リーダー導入研修　　10 月
○　介護予防推進リーダー導入研修　　令和５年１月頃

研修の案内は決まり次第、都士会ホームページに掲載いたします。御参加お待ちしております。

報告者：田中 美和子

士会指定事業のお知らせ

（１）　事業名：東京都理学療法士協会代議員総会
（２）　日時：令和４年６月 11 日 (土)14:00 ～ 16:30
（３）　会場：ＷＥＢ会議
（４）　募集定員：10 名 (H.28 年度より代議員総会になりましたので傍聴という形式での参加になります)
（５）　募集方法：「東京都理学療法士協会総会参加希望」と件名に明記し、必要事項を記入の上、下記にメールで応募してください。
①氏名　②フリガナ　③生年月日 (西暦)　④会員番号　⑤勤務先
⑥ＷＥＢ会議で使用するメールアドレス

申込み・問い合わせ先
地域包括ケアシステム推進員会
田中　美和子
Ｅ－ mail：yan_m_tanaka30@yahoo.co.jp

（６）　募集期間：令和４年５月 25 日 (月) ～令和４年６月５日 (日) 12：00 まで
先着順で 10 名とさせていただきます。

報告者：田中 美和子

エスカレーターマナーアップ推進委員会

報　告

委員長　齋藤　弘

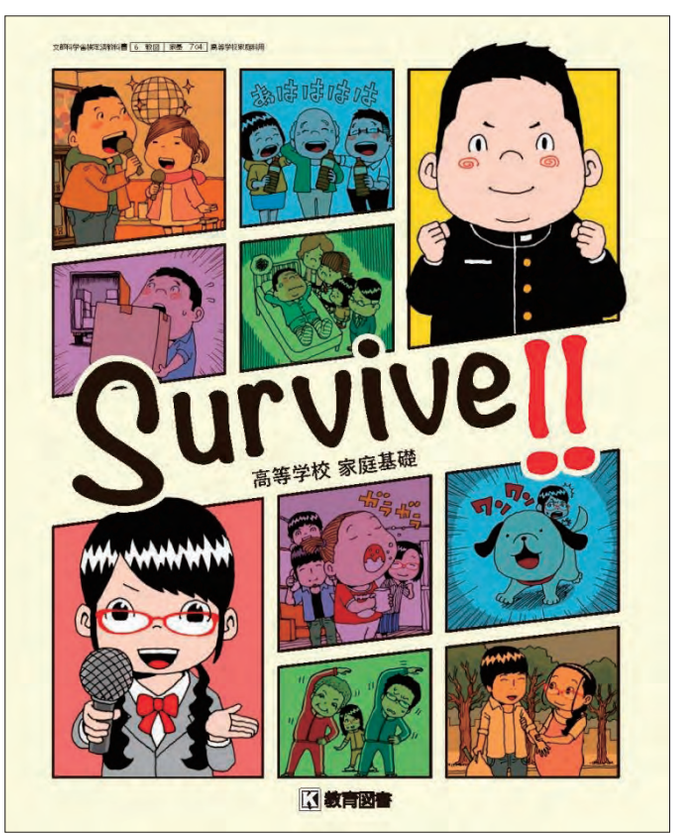
エスカレーターマナーアップ推進委員会

エスカレーター条例施行（埼玉）から１年。また、毎年全国鉄道事業者を中心にキャンペーン
も実施されています。条例やキャンペーンをきっかけに意識やマナーは変わってきているのか。多様性の意識は高まり考え方も変化してきているなかで、少しずつでも「エスカレーターを止まって乗りたい人がいる」という気づきを社会的に広く周知できることを願っております。
当委員会のエスカレーターマナーアップキーホルダーも少しずつではありますが、認知されてきているように感じます。理学療法士の視点で誰もが利用しやすいエスカレーターとなるように引き続き活動していきたいと思います

情報・メディア掲載

～ 高校の教科書に当委員会のキーホルダーが掲載されました ～

　教育図書より令和４年度発行の高等学校家庭科の教科書に、「TRY 何かしたいのに、なかなか一歩が踏み出せない　」と題して、当委員会のエスカレーターマナーアップキーホルダーが掲載されました。
エスカレーターを安全に利用するため、立ち止まって乗ることが本来のルールです。高校生等の年代から認識し TRY できることや、課題に触れ合える機会になることを期待したいと思います。
「主体的・対話的で深い学び」の実現の為に授業改善が求められているようです。本教科書は様々な工夫がされた新しい授業のための教材となっています。
＜ HP ＞ https://www.kyoiku-tosho.co.jp/2021/03/20/1134/#list



報告者：村田敬明（大久野病院訪問看護ステーション）

スポーツ局スポーツイベントサポート部

報　告

局長　板倉 尚子

すぎなみスポーツアカデミー障害者サポーター講座　ボッチャ交流会

日 程 :2022 年 2 月 19 日（土）
会 場 : 荻窪体育館
参加者 :28 名
理学療法士 :2 名

スポーツイベントサポート部では杉並区での障がい者スポーツや介護予防など様々な支援を行なっております。

2021 年度はすぎなみスポーツアカデミー障害者サポーター講座「ボッチャ交流会」を全 5 回実施しました。地域ボランティアスタッフを募り、障害者やボッチャについての講義や、体験教室の運営方法を勉強して地域住民の方が中心となってボッチャ交流会を開催するという事業です。

理学療法士も地域住民の方と一緒に講義に参加し、交流会運営まで携わらせて頂きました。交流会では知的障害の方が多く参加され、アイスブレイクの方法やコミュニケーションの取り方など大変勉強になると共に、一緒にボッチャ練習や試合を行い大変楽しいサポートとなりました。

杉並区ではボッチャ以外にも様々な障がい者スポーツや介護予防等の事業を行なっており、理学療法士が活躍出来る場が多くあります。今年度は新事業も予定されており、杉並区の皆様と一緒に障がい者スポーツ、介護予防に取り組んで行きたいと思います。

報告者：スポーツイベントサポート部　西條攻（三宿病院）

報　告

局長　板倉 尚子

第 31 回 全日本テコンドー選手権大会　メディカルサポート

日 時：2022 年 03 月 21 日（日）
場 所：町田市総合体育館

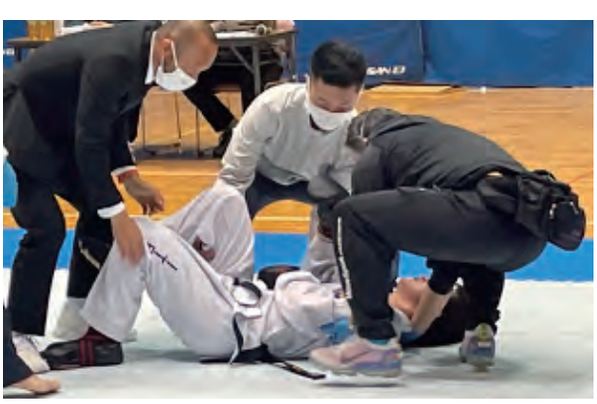
この度、国際テコンドー連盟全日本協会主催による全日本テコンドー選手権大会に、東京都理学療法士協会から 2 名の理学療法士がメディカルスタッフとして参加させて頂きました。参加選手数は 77 名であり、丸 2 年の大会中止からの今大会開催とのことで、参加選手ならびにスタッフ皆さの想いのこもった非常に熱気ある会場でのメディカルサポートとなりました。

対応件数は 13 件であり、対応内容は脳震盪、顔面打撲、上唇切、鼻出血、突き指、足関節捻挫、打撲（脇腹、膝、足背）と非常に多岐にわたっておりました。相手選手の打撃による出血で試合中を中断して対応するケースもあり、脳震盪と出血などの複合的な事例に対しての迅速でより的確な対応についての課題も見つかりました。全日本選手権ということもあり参加者のレベルも高く、私たちメディカルサポートを任されているスタッフも、より質の高い知識と技術を今後も研鑽していく必要性を感じる大会サポートとなりました。

昨年度のメディカルサポートに引き続いて今回もご依頼をくださり、現場で親身にご指導くださった全日本テコンドー連盟全日本協会のスタッフ皆様、そして選手の皆様には心より感謝申し上げます。今回の経験をもとにまた質の高いメディカルサポートができるよう精進していきます。

また、併せて今年度もスポーツ局ではスポーツ理学療法の普及・推進に向けて研修会を開催していく予定です。ぜひ多くの皆様のご参加をお待ちしております！

報告者：国際競技大会・スポーツ理学療法推進部部長 水石裕（杏林大学病院）



スポーツ局スポーツイベントサポート部

報　告

局長　板倉 尚子

フェンシング大会会場サポート

〇日　時：2022 年 4 月 15 日～ 5 月 17 日（延べ 15 日間）
〇場　所：北区滝野川体育館、駒沢オリンピック公園体育館
〇参加者：延べ 2258 名
〇参加理学療法士数：延べ 30 名

2022 年度も東京都フェンシング協会様、日本学生フェンシング連合様、関東学生フェンシング連盟様よりフェンシング競技大会のサポート依頼を頂戴しております。4 月よりサポート活動が始まっておりますので、以下に概要の報告を致します。

・第 3 回日本学生フェンシングカップ（4 月 15 日～ 17 日：3 日間）
　会場：北区滝野川体育館、総選手数：468 名（対応数：26 件）、参加理学療法士数：6 名

・第 29 回東京都選手権大会カデ男女フルーレ（4 月 23 日・24 日：2 日間）
　会場：北区滝野川体育館、総選手数：215 名（対応数：9 名）、参加理学療法士数：4 名

・第 23 回東日本少年個人フェンシング大会（4 月 29 日～ 5 月 1 日：3 日間）
　会場：駒沢オリンピック公園体育館、総選手数：604 名（対応数：12 名）、参加理学療法士数：6 名

・第 75 回関東学生フェンシングリーグ戦大会（5 月 10 日～ 17 日：7 日間）
　会場：駒沢オリンピック公園体育館、総選手数：971 名（対応数：51 名）、参加理学療法士数：14 名

数年ぶりに行われた大会もあり、選手達は熱が入ったプレーをしていたとの印象を受けました。サポートに参加された理学療法士の方も数年ぶりにサポートに入るスタッフもおり、テーピング技術や救急搬送の再確認をしながらサポートに挑みました。少しずつスポーツができる環境が戻りつつあり、サポートする側も徐々に技術・知識を戻していけるように努力していきたいと思いました。
今回参加されたスタッフをはじめ、支援いただいた東京都理学療法士協会の皆様に感謝致します。

報告者：スポーツ局スポーツイベントサポート部　生井真樹（世田谷人工関節・脊椎クリニック）

スポーツ局スポーツイベントサポート部

報　告

局長　板倉 尚子

EDORIKU 車いす陸上教室サポート

日　時：2022 年 5 月 7 日
場　所：江戸川区陸上競技場
参加者：8 名
参加理学療法士数：４名

2022 年度も江戸川区様より車いす陸上教室のサポート依頼を頂戴しております。５月よりサポート活動が始まり全 6 回を予定しております。今年度から関東パラ陸上競技協会の方が講師を務められ、教室の内容も陸上競技の練習だけでなく、体力テストも実施しながら自身で競技力向上を目指す教室となりました。

参加者の方は 10 代の方が多くいらっしゃいます。この中には車いす陸上教室がきっかけで東京マラソンなどの大会に参加できるようになったお子さんもいらっしゃいます。私たちは教室開始前にレーサー車いすの調整、参加者への準備体操及び整理体操、レーサー車いすへの移乗動作、走行サポートを通して参加者の皆さまが安心して参加して頂けるようサポートしております。そして、皆さまの社会活動がもっと広がっていけるよう支援できればと思っております。引き続き参加者の皆さまに楽しく教室に参加して頂けるよう取り組んで参ります。今回サポートに参加して下さった皆様に感謝致します。

報告者：スポーツ局スポーツイベントサポート部　部長　渡邊祐介（浮間中央病院）

スポーツ局スポーツイベントサポート部

報　告

局長　板倉 尚子

青山学院大学フェンシング部サポート

日　時：2022 年 2 月 26 日、3 月 12 日、4 月 2 日、4 月 30 日（計 4 回）
参加者：延べ 55 名
参加理学療法士：延べ 14 名

スポーツ局では昨年度に引き続き青山学院大学フェンシング部のフィジカルトレーニング、身体の相談など個人対応のサポートを行わせて頂いています。現在も新型コロナウイルス感染症の状況を配慮して感染予防対策を行いながら学内でのサポートと zoom でのオンラインサポートを併用し活動しています。
フェンシングでは捻挫や肉離れが多いスポーツと報告されています。部内にも捻挫を既往に持つ選手もおり、痛みを抱えてプレーする選手もみられています。トレーニングではフィジカル強化だけでなく外傷・障害予防を目的にトレーニング中の姿勢を意識づけて行ってきました。選手からは「試合中序盤から疼痛があり長時間プレーすることが困難だったが、疼痛が軽減し終盤まで戦い抜くことができるようになった」と嬉しい声も聞かれております。4 月からは新入生も入部しております。選手がケガなく競向上に取り組み、プレーに専念できるように本年度もフィジカルの向上と外傷・障害予防を実施していきます

報告者：スポーツ局スポーツイベントサポート部　山田 祐太朗　（元気ジム大泉学園）

スポーツ局スポーツイベントサポート部

報　告

局長　板倉 尚子

第６回全国ボッチャ選抜甲子園サポート

日　時：2022 年３月５日（土）
場　所：港区スポーツセンター
参加選手：19 名
派遣者数：10 名

この度、第６回全国ボッチャ選抜甲子園のサポートをして参りましたので、活動報告させて頂きます。私は元々、障害者スポーツに興味があり、関わる機会を模索している状態でした。今回、東京都理学療法士協会のホームページで「第６回全国ボッチャ選抜甲子園でのボランティア募集」の情報を見つけ、これは関われるチャンスだと感じ参加に至りました。ボッチャという競技は知っていましたが、実際に直接関わるのは今回が初めてでした。ルールは分かりやすいと感じた競技でしたが、あらゆる戦略や技術などがありシンプルだけど奥深い競技だと感じることができました。また試合中､選手達同士でコミュニケーションを取っている時の、緊張感のある雰囲気にとても惹きつけられました。
今回、初めて障害者スポーツに関わり、チームに付いてアテンドや試合前の準備に携わることで感じたのは、障害者スポーツは障害そのものを意識させなくなるほどの影響力を持っており、スポーツを介して充実した自立生活を送ることの一手段であるということでした。また、それをサポートできるのは、多様な障害に応じた個別指導やリスク管理ができる理学療法士は適任だと感じることもできました。一方で、私自身障害者スポーツに関わる上で、様々な知識や技術が足りないと感じ、自身の課題に気づくこともできました。障害者スポーツに関わる選手達が、安全に楽しく競技ができる様に、知識や技術を学び、これからも障害者スポーツ大会のサポートに積極的に参加し、日々精進していきたいと思います。
最後になりますが、今回この大会は私にとっての大きな一歩になりました。コロナ禍で大会を運営して下さった日本ボッチャ協会のスタッフの皆様、大会ボランティアの機会を与えていただいた東京都理学療法士協会、大会関係者や参加者の皆様に感謝いたします。

報告者：池上総合病院　平良寛朗

スポーツ局スポーツイベントサポート部

報　告

局長　板倉 尚子

東京マラソンファミリーラン 2021 サポート

日　　程：2022 年 3 月 6 日

会　　場：DN タワー 21 及び東京マラソン 2021 フィニッシュエリア周辺

対応者数：2 名

派遣者数：2 名

東京マラソン財団では「東京マラソンの盛り上がりを幅広い世代の方に味わってもらいたい」－東京マラソンファミリーランはこのような思いから、東京マラソン当日に親子で楽しめるファンランイベントとして誕生したそうです。参加者の中にはレーサー車いすでの参加もあり、この度、サポート依頼を頂きましたので活動報告します。

スポーツイベントサポート部は、江戸川区車いす陸上教室に参加しウォーミングアップ＆クールダウン、レーサー車いすへの移乗介助、シーティング調整、走行介助や誘導、トレーニング指導等のサポート活動を行っています。その経験を活かし、東京マラソンファミーリーランでも参加者に楽しんで頂けるようサポートしました。有楽町駅周辺がスタート地点となるため、コースの下見や車いす機器の搬送協力、アテンド、ウォームアップや移乗動作のサポート、伴走、ご家族様の誘導を行いました。参加されたお子さんは大きなイベント参加に緊張した様子でしたが、フィニッシュ後には笑顔があふれていました。また、保護者の方からは「理学療法士の方に付いて頂けて安心しました」など嬉しいお言葉もありました。これからもスポーツイベントで多くの方に楽しんで頂けるよう工夫しながらサポートしていきます。事前打ち合わせからご協力下さいました関係者の皆様へこの場をお借りして御礼申し上げます。2022 年度も車いす陸上サポートを継続していきます。

参考　https://www.marathon.tokyo/news/detail/news_002506.html

報告者：スポーツ局スポーツイベントサポート部　部長　渡邊祐介 (浮間中央病院)

Credit：東京マラソン財団提供（写真提供）

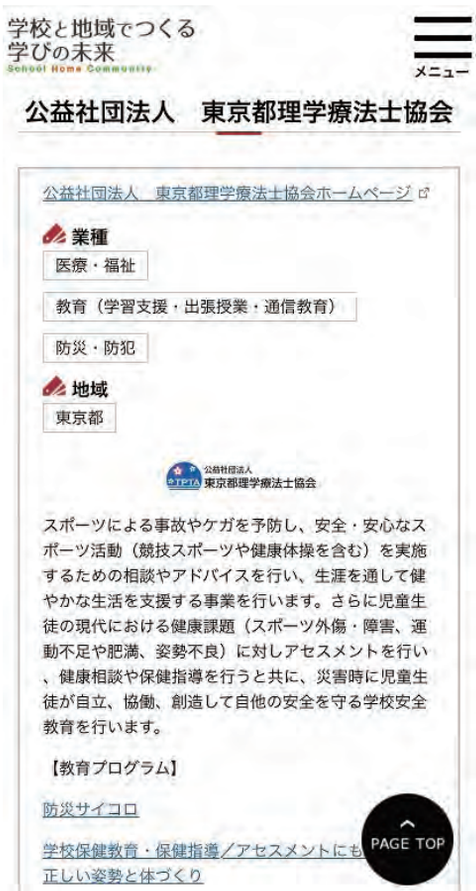
スポーツ局学校保健部

お知らせ

局長　板倉 尚子

文部科学省／「企業等による教育プログラム　＜土曜学習応援団＞」への登録

学校保健部は都内の学校等における保健・安全教育の学習プログラム提供として、「学校保健教育・保健指導／アセスメントにもとづいた正しい姿勢と体づくり」および「防災サイコロ」を申請し登録されましたのでお知らせします。
https://manabi-mirai.mext.go.jp/search_organization/detail/002612.html



文部科学省は、平成 26 年 4 月より子供の豊かな学びを支えるために、多様な企業・団体・大学等が「土曜学習応援団」に参画し、土曜日をはじめとして、夏休み、冬休み、平日の授業や放課後等の教育活動に出前授業の講師や施設見学の受入等を行い特色・魅力のある教育活動を推進しています。学校保健部は「土曜学習応援団」に登録しました。学校保健部の活動にご興味がある方は、学校保健部までお知らせ下さい。
問い合わせ先／ school.health@pttokyo.net

＜スポーツ局外部委員のご紹介＞
　佐伯　潤（さえき　じゅん）先生
・国士舘大学 防災・救急救助総合研究所 嘱託研究員
・国士舘大学 大学院 総合知的財産法学研究科 非常勤講師
・エイブル山内株式会社　顧問

佐伯先生は「防災サイコロ」の学習プログラムを監修し、東京都内の学校等に出前授業として展開するため理学療法士のインストラクター育成をされています。この度、スポーツ局外部委員に就任されましたのでご紹介します。

報告者：学校保健部部長　鈴木 享之（長汐病院）

防災教育活動

日時：2022 年 4 月 2 日 (土)　7：30 ～

場所：神田女学園中学校高等学校

講師：佐伯 潤先生（エイブル山内株式会社顧問）

内容：今回の防災教育は、佐伯潤先生を講師に神田女学園中学校高等学校の教諭約 40 名を対象とし、座学／防災の基本，実習／通信術を行いました。実習は、６グループを２会場に分け、全員が本部役、斥候役、現場報告役の３役を体験する形で行われました。私は、本部役の方々のサポートを行いました。多くの教員の方々が、無線機と口までの距離や使い方そして相手に伝える内容の選択と要約など普段では経験しない事に戸惑っておられましたが、「実際に災害が起こったらこの様なことをしなくてはいけないのですね。今回経験をしてみて良かったです」との声も聞かれました。またその他にも、「理学療法士の仕事を学生に話して欲しい」と言ったお声掛けも頂け非常に貴重な機会となりました。今後もこの活動を継続的に行い、学校教育の場で理学療法士として活動するチャンスを探して行きたいと思います。

報告者：学校保健部部長　鈴木 享之（長汐病院）

渋谷区内の小学校における運動器検診補助活動

日時：R4.4.14（木）・4.26（火）・5/9（月）13：15~14：45

場所：渋谷区立神南小学校

活動内容：

今年度も渋谷区立神南小学校からの依頼を受け、内科・運動器検診の補助活動を実施しました。小学校との関りは H30 年度から始まり、今回で５回目となりました。健診時の児童の誘導及び、運動器検診においては、検査項目の提示を行いました。検査項目を口頭で伝えるよりも、実際に理学療法士が検査方法を児童の目の前で見せることで、児童の理解も早く、効率化が図れていました。また、理学療法士に意見を求められる場面もありました。検診の現場では、養護教諭の先生は検診を行いながら、保健室に来る児童の対応もしており、忙しくなる時があります。補助活動は、学校医の先生からも養護教諭の先生からも、効率化の面や児童の対応も出来るので助かるとの意見を頂くことが出来ています。来年度の協力依頼も頂いております。今後もこのような活動を通して、学校との関りをもち、理学療法士が学校に関わる実績をつくっていきたいと思います。

報告者：学校保健部副部長　齋藤 弘樹（大橋病院）

スポーツ局学校保健部

報　告

局長　板倉 尚子

「これで防げる！学校体育・スポーツ事故」シンポジウムへの協力活動

日時：2022 年 3 月 26 日

会場：Zoom ウェビナーによるオンライン開催

参加人数：約 80 名

東京都理学療法士協会からの協力スタッフ：５名

活動内容

学校保健部では関係機関とともに共同の研究活動等を行っております。その一つに、主に学校で起こるスポーツ関連の事故による傷害を予防するため、「これで防げる！学校体育・スポーツ事故」と題するシンポジウムに関わり毎年企画・開催に協力をしています。

今年度は、体育館に関わる傷害について調査・検証し、子ども達、そして地域住民が学校体育館を安全に使用・利用するためにはどのような施設・設備が望ましいか、について検討しました。調査・検証にあたっては、学校保健部として関わりのある学校への協力依頼や、他の関係機関のスタッフと一緒に現地調査・検証も行いました。当日は、理学療法士からは「体育館設備や用具・器具の扱い方を考えよう」というテーマで体育用具の安全な運搬方法やボディメカニクスの活用についてなどを発表しました。

　様々な分野の専門家と協力し、子ども達の怪我や傷害予防に対する活動を学校保健部として今後も積極的に行っていきたいと思います。

報告者：齋藤 弘樹（大橋病院）

お知らせ

局長　板倉 尚子

【認定理学療法士（スポーツ）　臨床認定カリキュラム　開催のお知らせ】

この度、東京都理学療法士協会スポーツ局は日本理学療法士協会 新生涯学習制度における認定理学療法士（スポーツ）臨床認定カリキュラムの教育機関として認定されました。つきましては 2022 年度に web 研修会（3 日間）＋対面研修会（2 日間）の全 5 回の研修会を実施いたします。以下の内容で開講を予定しておりますので、ご興味のある方は是非ご参加ください。

記

●会　期

① 2023 年 01 月 07 日（土）web 研修会

② 2023 年 01 月 14 日（土）web 研修会

③ 2023 年 01 月 15 日（日）web 研修会

④ 2023 年 01 月 21 日（土）対面研修会（東京都内）

⑤ 2023 年 01 月 22 日（日）対面研修会（東京都内）

●参 加 費：30,000 円／全 5 回（21 科目 31.5 時間）

●募集人数：20 名

●条　　件：以下の 2 つの条件を全て満たすものに限る

①日本理学療法士協会会員

②全 5 回全てにご参加可能な方

●申込開始：2022 年 7 月を予定

※現在調整を行いながら開催の準備を進めております。上記から変更となる場合がありますことご容赦ください。
ご興味のある方は随時、東京都理学療法士協会ホームページなどで情報を配信いたしますのでご確認ください。

お問い合わせ先：東京都理学療法士協会スポーツ局　板倉尚子

水石 裕

E-mail：sports.pttokyo@gmail.com

以上

登録番号　K22-105
発行年月日　2022 年 4 月 1 日

認定理学療法士臨床認定カリキュラム教育機関

認　定　証

東京都理学療法士協会　スポーツ局　殿

貴施設を、本会が認定した認定理学療法士臨床認定カリキュラム教育機関であることを証する

認定分野：スポーツ理学療法
有効期間：2022 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日

公益社団法人　日本理学療法士協会
会　長　齊藤 秀之

スポーツ局

報　告

局長　板倉 尚子

スポーツ局外部委員のご紹介

スポーツ局外部委員規程が設けられ、外部委員が選任されましたのでご紹介します。

・阿部新治郎弁護士（井澤・黒井・阿部法律事務所）

・多賀　啓　弁護士（パークス (PAX) 法律事務所）

阿部 新治郎 弁護士

多賀 啓 弁護士

阿部弁護士、多賀弁護士は（一社）日本スポーツ法支援・研究センター所属、および（公財）日本スポーツ仲裁機構スポーツ仲裁人・調停人等候補者です。阿部弁護士と多賀弁護士のご助言を得て、会員の皆様が法的に適正にスポーツ現場活動を行うための環境と身分保障の整備に取り組みます。

報告者　スポーツ局局長　板倉尚子（日本女子体育大学健康管理センター）

部長　中山　雅和

■　機関誌『理学療法　東京』投稿募集のお知らせ　■

当士会では年一回、機関誌『理学療法　東京』を発行しており、投稿原稿を常時募集しています。投稿された原稿は査読者に依頼し掲載可能とみなされれば校正ののち、その時点で最も発行が近い『理学療法 東京』に掲載します。

生涯プログラムへの反映について

・新人教育プログラムは、反映されません。

・認定・専門理学療法士制度では，『3.-4) その他の査読付きリハビリテーション関連雑誌の筆頭著者 10 ポイント』に該当します。

＊ただし、内容によって専門分野での認証されない場合があります。反映される方は、発刊後に自己申請をお願い致します。

《執筆投稿規定》

1. 学術研究論文
2. 教育関係論文
3. 症例報告論文
4. 行政及び士会運営に関する論評等

【投稿者の資格】

公益社団法人東京都理学療法士協会会員に限る。但し会長が依頼した場合この限りではない。

【投稿原稿の条件】

投稿原稿は他誌に発表、または投稿中の原稿でないこと。本規定に従って作成すること。

【著作権】

本誌に搭載された論文の著作権は東京都理学療法士協会に属する。

【研究倫理】

ヘルシンキ宣言に基づき対象者の保護には十分留意し、説明と同意などの倫理的な配慮に関する記述を必ず行うこと。

【原稿の採択】

原稿の採択は複数の査読者の意見を参考に編集委員会において決定する。査読の結果、編集方針に従って原稿の修正を求めることがある。また、必要に応じて編集委員会の責任において字句の訂正を行うことがある。

【執筆規定】

1. 論文構成

1）標題（表題）：内容を具体的かつ的確に表し、できるだけ簡潔に記載する。原則として略語、略称は用いない。

2）キーワード：標題及び要旨から 3 個を抽出する。不十分な場合は本文から補充する。3）著者名、所属名

4）要旨：「目的」「方法」「結果」「結論」を含めて 400 字程度で記載する。

5）本文：下記の各部分から成り立っていることを原則とする。

① はじめに（序論、諸言、まえがき等）

② 対象および方法（症例紹介）：倫理的配慮を記述すること。

③ 結果

④ 考察

⑤ 結論（まとめ）

⑥ 文献：引用文献のみとして本文の引用順に並べる。本文の該当箇所の右肩に一連番号を付ける。引用文献の著者氏名が 3 名以上の場合、最初の 2 名を記載し、他は「・他」あるいは「et al.」とする。雑誌の場合は著者氏名、論文題目、雑誌名、巻、号、頁、西暦年号の順に記載する。単行本の場合は著者氏名、書名、編集者氏名、発行所名、発行地、年次、頁を記載する。

＜表記例＞

・藤田信子，桝田康彦・他：椅子座位における側方傾斜刺激に対する頸部・体幹・四肢の筋活動―筋電図学的分析．理学療法学 ,17:27-30,1990.

・Sepic,S.B,Murray,M.P,et al.:Strength and Range of motion in the Ankle in Two Age Groups of Men and Women.Am.J.Phys.Med,65:75-84,1986.

・真島英信，猪飼道夫：生体の運動機能とその制御 . 杏林書院 , 東京 ,1972,pp185-193.

・Junda,V.:Muscle Function Testing Butterworths,London,1983,pp224-227.

6）図表

原寸でそのまま掲載する（作図や縮小はしない）。図の番号および標題は図の下に、表の場合は表の上につける。本文と図表は分けて作成し、表・図・写真の挿入位置を本文の右欄外に指示する。

2. 原稿規定分量

原則として 400 字詰め原稿用紙 20 枚・8000 字以内とする。

3. 文字表記

原則として現代かな使い、数字は算用数字，単位は国際単位系　（SI 単位）を用いる。

4. 略語

略語は初出時にフルスペルあるいは和訳も記載する。

5. 表紙頁，著者頁

　論文には表紙頁と著者頁をつける。表紙には標題、キーワード (3 個)、本文ページ数、図表枚数、原稿文字数を記載する。著者頁には著者名、所属名、責任者連絡先（住所・電話番号・Email アドレス）を記載する。表紙頁, 著者頁の後に要旨･本文･図表を改めて記載する。

6. ページ番号・行番号

　原稿にはページ番号（最下部中央）と本文右（または左）に５行ごとに行番号を記載する。

【原稿送付方法および連絡先】

1）原稿送付先

原則として投稿原稿一式を 1 つのファイルにまとめ、電子メールに添付して下記へ送付する。上記が不可能な場合は問い合わせすること。

2）原稿送付先および連絡先

〒 189-0024　東京都小金井市中町 2-22-32

社会医学技術学院　　理学療法学科

(担当者) 中山雅和

TEL：042-384-1030

FAX：042-384-8508

E-mail：pt_tokyo_kikanshi@yahoo.co.jp

（平成 31 年 1 月 31 日　改定）

編集後記

新年度になり早いもので５月下旬となりました。東京都理学療法士協会会員の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか？公私ともに COVID-19 の影響を大きく受けておられる方もいらっしゃるのではないでしょうか？東京都の COVID-19 新規感染者数は役 3,000 名で下げ止まっており、皆様の勤務先においても、職員の陽性者、濃厚接触者となるケースも散見されているのではないでしょうか。社会情勢の大きな変化のなか本年９月には第 41 回関東甲信越ブロック理学療法士学会が東京都理学療法士協会が担当し開催予定となっております。ハイブリッド開催ですが、対面でのプログラムも準備されております。なんとか対面での事業開催を願うばかりです。また６月１１日には東京都理学療法士協会代議員総会がオンラインにて開催予定となっております。代議員の会員の皆様の活発な討議を祈念しております。(M.I)

公益社団法人 東京都理学療法士協会 正会員数

9,743 名（令和４年５月２５日現在）

（事務局）　〒 151-0053　東京都渋谷区代々木 2-26-5　バロール代々木４０９号

Tel：03-3370-9035　FAX：03-3370-9036